

スマートアイランド推進実証調査 実施内容紹介

男木島 (香川県高松市)

自ら学ぶ機会を増やす、男木島スマート交流プロジェクト

- 島の課題**
- 小規模学校で指導者が不足する上、船による移動が必ず伴う為、塾、習い事など学習環境や島外との交流が制限され、
 - 子供の進学にあわせて島を離れる実態があり、子育て世帯の定着が難しい
 - 地域の担い手不足により、高齢者見守り等の負担が特定の人へ重なる
- ⇒ 学習環境や交流環境の向上、地域の見守り機能を向上させる取組が必要



調査体制



取組概要

- 本土側で大学生による支援組織を立ち上げ、島の生徒に対して一般的な学習支援や進路選択に役立つ情報提供などを実施。
- 生徒の満足度や事業性の比較評価・分析を行い、今後の事業展開の検討を行う。
- センシング技術を活用した見守りシステムの構築、動作状況を確認する。

目指す姿・期待する効果

- **島の児童・生徒の学習環境の多様性を高め、指導者不足を補う**
ICT機器を活用し、島の児童・生徒が本土側の学生から学習支援を受けたり、学生自らの体験を語ってもらい進路選択に役立てるなどの知的交流の場を構築し、島の児童・生徒が多様な考え方や意見に接する場を構築することで、自ら学ぶ機会を増やす
- **高齢者見守りシステムの導入へ**
地域の高齢者見守り機能の低下に対応するため、男木島島内をネットワーク化（※LoRaネットワークを導入）を図り、センサーによる見守り機能導入を目指す。
※LoRaとは、長距離低消費電力無線通信の一つ

教育を通じた地域交流



ICT/IoTを利用した見守り

中通島 (長崎県新上五島町)

無人ヘリコプターを活用した離島地域の持続への挑戦

- 島の課題**
- 近年の地震・大雨等の大規模災害や度々発生する海での水難事故等に鑑み、迅速な情報伝達体制や救助体制の整備が必要。
 - 水産資源の減少が危惧される中、密漁船の高速化等に対抗するための監視体制強化が求められている。
 - 本土との物流について、緊急を要する医薬品等や即時性が求められる生鮮品出荷のための輸送体制構築が課題。
- ⇒ 無人ヘリコプターを活用による島の防災体制の強化や本土との物資輸送の実現により、物流の補完体制の構築が必要



調査体制



主な取組概要

- 無人ヘリによる鮮魚等の物資輸送を実施し、遠隔操縦に係る通信手段の検討やオペレーション省力化等を複数回試行するとともに、商品の販売価格の検証を行い、事業性を確認する。
- 無人ヘリを活用した水難事故の救助訓練や密漁監視の訓練を実施し、オペレーション、事業性、地域貢献の観点から検証を行う。

目指す姿・期待する効果

- **無人ヘリを活用した物流体制の確立**
昨年度の実証で課題となった運営コストについて、通信方法の見直しや、オペレーションの省力化、商品の適切な販売価格の検証を行い、採算性向上を図ることで本格運用を目指す。
- **無人ヘリの多用途使用の一環として、密漁監視や水難救助の体制整備へ**
漁業者、船舶会社等と連携の上、無人ヘリコプターを活用した密漁監視・水難救助のシミュレーションを行い、有効かつ迅速なスキームの構築を目指す。

